

をとうとはをかしおどけし紅き頬ほに

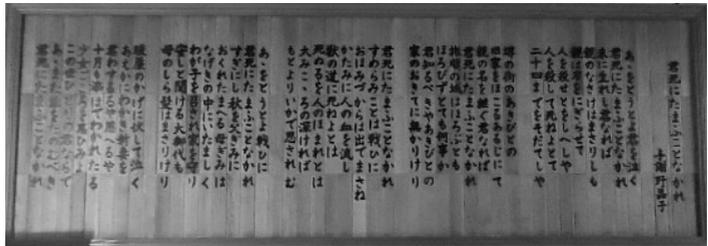
涙流して笛ならうさま

歌 意

私の弟が笛をならうさまはとても可愛いのですよ。ふざけながらも一生懸命に練習して、真っ赤になった頬に涙までながしています。

掲出歌集 『舞姫』明治39（1906）年1月
初出 「明星」明治38年6月 「はなたちばな」（晶子27歳）

- ・所在地
堺市立少林寺小学校
(堺区少林寺町東4丁1-1)
阪堺線寺地町駅より
東へ徒歩5分
- ・建 立
平成5年創立120周年記念
堺市立少林寺小学校
- ・連絡先
堺市立少林寺小学校
072-232-1126



堺市立少林寺小学校が、同校の創立120周年記念に晶子の母校(宿院小学校の後身)として何か残したいと、「をとと」とを歌碑として建立した。あわせて6年生が「君死にたまふことなかれ」の五連を小板に刻んだ額の製作を卒業記念として取り組んだ。(正面玄関に掲額)

「をとと」とは「君死にたまふことなかれ」の弟・籌三郎のことであろう。彼は晶子の良き理解者であったとも伝えられている。

晶子自身この歌を次のように解釈している。「自分の弟ほど可愛い人はない。あの滑稽なほど不容貌な赤くふくれた顔に、熱心な余りに流すなみだを伝わせながら吹いている。ひよっとすると弟は上手な笛吹きになるかもしれない。今立てている音も快い。」

『短歌三百講』大正5年